

逆子の治し方

原因：妊娠中期から後期にかけて医師から逆子ですよと宣告された方の多くは、食べ過ぎ、つわりが関係して、頻繁に胃の周囲を擦っていました。他にも、先に生まれた子供さんが子宮周囲を刺激する行為等が関係したりする場合もありました。

逆子の改善方法

1. まず、胃の周囲を擦ることを辞めてください。

胎児は、頭を触って（なぜか）欲しいから、お母さんが擦る手の近くへ移動しているのではないかと個人的に考えています。

だから、せっかく苦勞して逆子を治しても、また、戻ってしまう可能性があるの
で、お母さんが擦る位置は、胃の周囲でなく、お臍の下あたりにしてください。

2. 胎児に働きかけて胎児自身に動いてもらうように声掛けをします。

逆子体操は、あくまでお母さんが胎児に話しかけずに黙々と行っている行為ですから胎児に伝わっていないと思ってください。結果として治る人もいれば、そうでない方もみえます。そのことから、胎児に話しかけ、胎児が自らに動くようにしてもらえば、お母さんが逆子体操を行うことがなく動いてもらえます。

3. 胎児に対して道路誘導員みたいに誘導してください。

胎児はどのように動いたら良いのかわからないと考え、動き方により胎児の首に臍の緒が巻き付く場合がありますので**注意**が必要です。医師のエコー等で胎児の**位置を確認**したうえで、お母さんが、誘導員として手で胎児の頭⇒胎児の背中周囲⇒お母さんのお臍の下というように順番に擦ってあげてください。その時に赤ちゃんに対しての声掛けを忘れないようにしてください。声掛け例は下記参照

例① 「お母さんは頭をこちらへ移動してくれると嬉しいな・・・」

例② 「お母さんは早くあなたの顔が見たいから頭をこちらへ移動して」

例③ 「生まれるときは、頭がこちらだとお母さんが楽し、一緒にがんばろ」
など参考にしてください。

このように1～3を実施していただければ3～7日間で逆子が治ります。これは、逆子体操で治らずに、来所して試された妊婦さんの評価でした。但し、胃の周囲を擦り続けた妊婦さんは逆子が改善しませんでした。逆に妊娠40週経過していた場合でも治った例があります。

追加注意事項

上記内容から、胎児は大人が考えているより、知性を持っています。また、胎児は、お母さんの血液を通して生活していますから、感情の起伏が激しいとか、規則正しい生活が出来ていなければ、当然、赤ちゃんもお母さんの脈拍やアドレナリンやインスリン等の影響を受けています。

生まれてから赤ちゃんに悩まされるのは、お母さん自身ですよ！